

九州大学ソーシャルアートラボ 志賀島自由大学

海音の

砂浜アート

志賀島に龍神を描く

龍は水の神様。水を治め、波や潮の満ち引きもおこせるといわれています。

日本は今、豪雨や台風による災害が増えています。水への祈りをこめて、砂浜に力をあわせて大きな龍を描きましょう。美しい音叉と波の音に耳をすませながら、志賀島に、「海音の龍神様」を招きます。



2018.10/7 [日] 13:30-15:30

[参加費] 1,000円 要事前申込・先着順

[定員] 20名(5歳~12歳)+保護者 申し込み方法は、裏面をご覧ください。

[参加条件] 必ず保護者が同行してください。 [持ち物] 帽子・飲み物・日焼け止め

*雨の場合は、室内でウインドチャイムづくりのワークショップをします。

[集合場所] 海の家 丸良 まるりょう 福岡市東区大字志賀島 434

講師 知足 美加子 九州大学大学院芸術工学研究院准教授

アシスタント講師 石上 洋明 福岡教育大学教育学部助教

サウンド 比屋根 綾子 志賀島文化協会理事長

撮影した
写真を
プレゼント!



九州大学



大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部



海と神話をつなぐ ～志賀島プロジェクト 2018

総合ディレクター 藤枝 守

九州大学ソーシャルアートラボ志賀島自由大学

海音の うみおと すな はま 砂浜アート

— 志賀島に龍神を描く

2018.10/7 [日] 13:30-15:30



講師プロフィール

講師 知足 美加子 ともたり みかこ

九州大学大学院芸術工学研究院准教授。博士(芸術学)。彫刻家(国画会会員)。山岳修験道学会評議員(英彦山山伏「知足院」の子孫)。中越地震、東日本大震災、熊本震災、九州北部豪雨災害において、アートを通じた復興支援活動を行う。2017年より、災害流木のおりを制作し義援金とする活動や、松末小学校時計づくりワークショップ等を行う。樹齢132年の災害流木で制作した彫刻《朝倉龍》を、朝倉市立杷木小学校に寄贈している。

アシスタント講師 石上 洋明 いしがみ ようめい

福岡教育大学教育学部幼児教育講座助教(美術・造形表現)。鍍金家。中学校美術科講師、九州大学ソーシャルアートラボ職員を経て2017年より現職。子ども向けの美術造形ワークショップを定期的に行っている。

サウンド 比屋根 綾子 ひやねりょうこ

志賀島文化協会理事長。歯科麻酔科医。痛みと記憶の研究を経て、振動医学を応用した統合医療を実践しながら音と瞑想を取り入れたセミナーを主催。

お申し込み(要事前申し込み・先着順)

下記の項目を記載のうえ、Eメールにてお申し込みください。

本企画では、海に対する子どもの意識調査も行いますので、イベント後にも、アンケート調査等への協力を依頼する場合がございます。

- ①お子様のお名前
- ②年齢
- ③住所
- ④メールアドレス
- ⑤アンケート協力の可否

E-mail sal-sea@design.kyushu-u.ac.jp

【参加費】1,000円

*定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

お問い合わせ

九州大学ソーシャルアートラボ 志賀島グループ

TEL 050-3573-4283

MAIL sal-sea@design.kyushu-u.ac.jp

知足美加子《朝倉龍デッサン》2017年

集合場所へのアクセス



海の家丸良 まるりよう

福岡市東区大字志賀島 434

P 駐車場あり(無料)

【福岡市営渡船】

博多埠頭から志賀島渡船場まで約30分、志賀島渡船場より徒歩約1分。

【JR】

JR西戸崎からバスで志賀島まで約10分、バス停「志賀島」下車徒歩約1分。

主催：九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ

共催：志賀島文化協会、志賀島自治連合会

協力：志賀海神社、ふたば幼稚園、福岡市漁業協同組合志賀島支所、志賀商工会、志賀島農業共同組合、福岡市博物館

後援：福岡市、西日本新聞社、RKB毎日放送 助成：日本財団「海と日本PROJECT」

海と神話をつなぐ～志賀島プロジェクト 2018

九州大学ソーシャルアートラボでは、今年度、日本財団「海と日本PROJECT」の一環で、博多湾に浮かぶ志賀島を舞台に「海と神話をつなぐ～志賀島プロジェクト 2018」を展開しています。志賀海神社および志賀島の島民の方々、また志賀島を長年研究している福岡市博物館と協働しながら、志賀島と海が育む文化の多層性を、学際的な観点とアートの手法を取り入れながら顕在化させることで、多世代の人々が再認識できる場を提供します。

8月から12月にかけて実施されるこのプロジェクトでは、海とともに生きてきた志賀島を知り、全身で志賀島を体感するために「志賀島自由大学」(第1期：8～9月、第2期：10～11月)を開講します。第2期は、ワークショップ2回とレクチャー1回で構成されています。さらに、12月22日には、志賀島の神話を現代に蘇らせる創作神楽「ISORA2018」も上演します。

今後のイベントの予定は、ウェブサイトでお知らせします。

ウェブサイト <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/shikanoshima.html>

志賀島プロジェクト・コアメンバー

志賀島自由大学名誉学長：平澤憲子(志賀海神社権禰宣)

総合ディレクター：藤枝守(九州大学大学院芸術工学研究院教授)

広報ディレクター：池田美奈子(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

コーディネーター：高坂葉月(九州大学ソーシャルアートラボ)

地域コーディネーター：比屋根綾子(志賀島文化協会)

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています。